

製品名: CD158f2 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab08228**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	40kDa

抗原情報

遺伝子名	KIR2DL5B KIR2DL5B; CD158F; CD158F2; KIR2DL5; KIR2DLX; Killer cell immunoglobulin-like receptor
別名	2DL5B; CD158 antigen-like family member F2; Killer cell immunoglobulin-like receptor 2DLX; CD antigen CD158f2
遺伝子 ID	553128.0
SwissProt ID	Q8NHK3
免疫原	抗血清はヒト KIR2DL5B 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 161-210

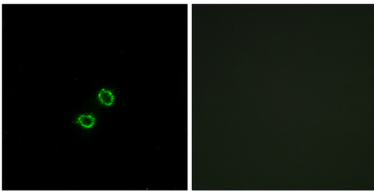
背景

キラー細胞免疫グロブリン様受容体、2つのIgドメインおよび長い細胞質テール5B (KIR2DL5B) ホモサピエンス キラー細胞免疫グロブリン様受容体 (KIR) は、ナチュラルキラー細胞およびT細胞のサブセットによって発現される膜貫通糖タンパク質です。KIR遺伝子は多型性があり、高い相同性を有し、1 Mbの白血球受容体複合体 (LRC) 内の染色体19q13.4上のクラスターとして存在します。KIR遺伝子クラスターの遺伝子内容はハプロタイプによって異なりますが、いくつかの「フレームワーク」遺伝子はすべてのハプロタイプに存在します (KIR3DL3、KIR3DP1、KIR3DL4、KIR3DL2)。KIRタンパク質は、細胞外免疫グロブリンドメインの数 (2Dまたは3D) と、長い (L) 細胞質ドメインと短い (S) 細胞質ドメインの有無によって分類されます。長い細胞質ドメインを持つKIRタンパク質は、免疫チロシン阻害モチーフ (ITIM) を介してリガンド結合時に阻害シグナルを伝達する一方、短い細胞質ドメインを持つKIRタンパク質は機能を持たない: ナチュラルキラー (NK) 細胞上のHLA-Cアレルに対する受容体。NK細胞の活性を阻害し、細胞溶解を防ぐ。類似性: 免疫グロブリンスーパーファミリーに属する。類似性: 2つのIg様C2型 (免疫グロブリン様) ドメインを含む。

研究分野

抗原処理と提示、ナチュラルキラー細胞を介した細胞傷害、移植片対宿主病、

画像データ



KIR2DL5B抗体を用いたA549細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロックした画像です。